



2017年2月9日

各位

会社名 日本写真印刷株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也
 (コード番号 7915 東証第1部)
 問合せ先 取締役専務執行役員 兼 最高財務責任者 西原勇人
 (TEL. 075-811-8111)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2016年11月7日に公表いたしました2017年3月期(2016年4月1日～2017年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2017年3月期通期連結業績予想数値の修正(2016年4月1日～2017年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 120,000	百万円 2,000	百万円 500	百万円 0	円 銭 0.00
今回修正予想(B)	118,000	△2,000	△3,500	△5,000	△112.94
増減額(B-A)	△2,000	△4,000	△4,000	△5,000	
増減率(%)	△1.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2016年3月期)	119,796	10,546	9,238	6,896	160.72

(注)2017年3月期連結会計年度より「在外連結子会社等の収益および費用の換算方法の変更」を行ったため、前期実績について、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

修正の理由

当第3四半期連結累計期間においては為替レートが想定よりも円高傾向で推移したことに加えて、いずれの事業においても製品需要が想定を下回ったことにより売上高は前回予想を下回りました。また、損益面では、減収の影響およびデバイス事業における新規受注のための開発費用が前回想定よりも増加したことなどにより、前回予想を下回りました。

第4四半期連結会計期間においては、売上高は前回予想程度に進捗する見込みですが、損益面では第4四半期連結会計期間の為替レート的前提を1US\$=105円から110円に見直したことによる増益効果がある一方で、前述のデバイス事業における新規受注のための開発費用の更なる増加および製品ミックスの悪化により、前回の想定よりも下回る見通しです。

これらを踏まえた結果2017年3月期通期連結業績については、売上高、営業利益および経常利益は、前回予想を下回る見通しです。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、これらの要因に加えて、当初想定していた補助金収入が次期にずれこむことなどから前回予想を下回る見通しです。

以上